Q 岡部駅北広場に接続する県道・市道に止まれの設置はできないか

A 東側市道に路面標示を検討する

福島（ふくしま） 秀樹（ひでき）

映像はこちらから

Q 岡部駅北側の広場には市道、県道が接続されており、その広場には、車・自転車・歩行者が出入りし、時間帯によっては混雑する。防止対策として、県道及び東側市道に「止まれ」の設置はできないか。

A 「止まれ」の所管については警察署となるため、JRや県、警察とも調整し、安全対策を検討していきたい。市では、東側市道に路面標示を検討したい。

Q 岡部駅北側広場の放置自転車については現在も環境改善が見られない。JRとの意見交換の状況は。

A 岡部駅と深谷駅兼務のブロック長と意見交換し、JRが放置自転車に警告及び撤去等の独自の対策を行い、本年3月に、17台の撤去を行った。JRでは、今後も放置自転車等の整理・撤去を行っていく予定。

岡部駅北広場

●小山川ウォーク&サイクルロードについて

Q 昨年同様、小山川ウォーク&サイクルロードに2メートルを超える雑草が繁茂しており、防犯上も危険である。市の対応について伺う。

A 市としてアダプト団体の除草を含め年4回実施したが、現状について苦慮している。繁茂の状況を見ながら、除草時期を調整し対応する。

Q 刈り取りだけでなく、除草剤散布を含めた管理について伺う。

A 除草剤散布による対策は根を枯らすことになり、河川堤防の法面崩れを防止するためには、根を残した刈り取りによる除草としたい。

Q 遊休農地を減らすためにどのような施策があるか

A 地権者に意向調査を行い、貸借の斡旋等を行っている

田口（たぐち） 英夫（ひでお）

映像はこちらから

Q 市内の遊休農地はどのくらいあるのか。

A 186ha、市内農地面積の3・1%である。

Q 実態はどのように把握しているか。

A 毎年8月から9月にかけて、全農地を対象に、利用状況調査を行い、遊休農地の状況を把握している。

Q 遊休農地を減らすための施策は。

A 遊休農地の地権者に、意向調査を行い、貸したい等の意向があれば、貸借等の斡旋を行っている。また、遊休農地を借り受けて、耕作できるように遊休農地解消を行う農業者に対して、「遊休農地等解消事業補助金」の交付を行っている。雑草、低木の除去や樹木の伐根、畦畔ブロックの撤去等、限度額を設定し、きめ細かい支援ができるようにしており、過去5年間に、8，800㎡の遊休農地が解消されている。

Q 新規就農者に対しては、どのような支援策があるのか。

A 農業機械の導入費を国や県が補助する制度や、新規就農後に、最大で1年あたり150万円を3年間支給する経営開始資金などがある。また、令和4年度から、模擬経営を通じて実践的な研修を行う、「担い手育成塾はなぞの校」を開校した。

Q 「担い手育成塾」を市内の他の地域でも実施する考えはあるか。

A それぞれの地域の特性を生かした塾を展開していきたい。そのため、他の農協とも協議を行い、市内全域に広めたいと考えている。

遊休農地

Q 市民が活用しやすい広報広聴に取り組んでほしい

A 全庁的に周知しながら、広報広聴活動に努める

今井（いまい） 慶一郎（けいいちろう）

映像はこちらから

Q 8月に取り組まれた地域通貨ネギーの20%プレミアムキャンペーンは繰上げ終了の周知徹底が足りず、一部の市民に混乱を招いた。市民が広報広聴を利用しやすい「双方向のコミュニケーション」は必要であると思う。市の見解を聞きたい。

A 今回の地域通貨ネギーキャンペーンの繰上げ終了が一部の市民に伝わりきれなかったことはお詫びする。今後ホームページをリニューアルするので、情報の閲覧における定点観測等を実施して、より一層、市民が市政情報への理解を深め、各事業に参加頂けるよう、努めていく。

●鳥獣が原因の農作物被害、人的被害を増やさないために

Q 鳥獣が原因の農作物被害、人的被害の数と、増やさないための取組について聞きたい。

A 現時点では大型鳥獣における人的被害の報告はない。農作物被害は生産者より通報があれば、電気柵の貸出や電気柵を購入する際の補助、捕獲が必要な場合には、防災無線で注意喚起を行ったり地域猟友会に捕獲依頼を行っている。小型鳥獣等に関しては、生産者や自治会からの申し込みを受けて、早ければ即日、箱檻を貸し出している。今後も効率的な運用を心がける。

広報広聴の価値を高める情報発信を!!

Q 深谷グリーンパークの公園部分の維持管理は

A 指定管理者が管理している

茂木（もてぎ） 一郎（いちろう）

映像はこちらから

Q 5つの広場はどのように使用されているか。

A アプローチ広場は花き振興施設の花の展示による、もてなしの場である。多目的広場は雨水調整池として設置してあるがビーチバレーや屋外教室の場ともなる。芝生及び集いの広場はパーク一番の広場で大小の遊具や広い芝生がある。スポーツ広場は農畜産物を味わえるバーベキューやキャンプ場にもなる。

Q 広場を含め、公園部分がどのように維持管理されているか。

A 深谷グリーンパークは、屋内プールの「アクアパラダイス・パティオ」と併せて5社の共同事業体が管理している。公園部分の各広場の除草や清掃から展示ほ場への花の展示、外周樹木の枝おろしまで、指定管理者が指定管理者選定時の提案書を基に年間計画を立て実施し、またイベント実施時や遊具周りなどは優先的に整備している。市としては毎月実施している指定管理者との定例会や日頃の事務連絡時に管理状況を確認し適宜、維持管理の指導をしている。

Q 本年度から開始した「パティオ・de・キャンプ」とは何か。

A キャンプやBBQは、指定管理者の自主事業である。BBQの料金は場所のみ大人1，000円、子供500円、食材セットは大人3，800円、子供2，500円、他にデイキャンプやアウトドア会議プランがある。

Q 芝生広場の補修はどうか。

A 指定管理者が除草と併せ、芝生の補修作業を実施する。

パティオの桜並木とチューリップ